

2021年2月26日

大阪府知事 吉村 洋文 様  
大阪市長 松井 一郎 様  
公益社団法人2025年日本国際博覧会協会会長 中西 宏明 様  
一般社団法人GOTO2025プロジェクト 代表理事 白濱 良太 様  
レッツゴー万博 2025 実行委員会 様

コアジサシ繁殖期間中は  
夢洲および夢洲上空域でのイベント  
ならびに繁殖予定地近くへの立ち入りをしないよう要望します

公益社団法人 大阪自然環境保全協会 会長 夏原由博

大阪自然環境保全協会では、2020年4月に、絶滅危惧種の渡り鳥コアジサシが、夢洲に多数来ていることを発見し、3区の砂礫地で多くのつがい繁殖行動をしているのを確認しました。2020年の繁殖は工事の続行で失敗しましたが、大阪港湾局では、2021年の繁殖期には、昨年繁殖つがい多数見られた夢洲3区のIR予定地の一部の工事をいったん休止して、コアジサシ繁殖誘導地に提供してくれることになっています。

これは、夢洲で、4月末から7月末にかけて、コアジサシ保護を第一に考えることと同義です。

本種は繁殖場所への人の立ち入りや上空の飛行物に対して非常に敏感です。コアジサシ繁殖期間中である4月末から7月末まで、夢洲および夢洲上空域での花火やドローンの飛行をともなうようなイベントの開催、ならびに繁殖予定地近くへの立ち入り行為はしないよう、強く要望します。

(理由)

1. コアジサシは環境省が絶滅危惧Ⅱ種に指定している渡り鳥で、4月末から8月初め頃まで日本に滞在し、繁殖子育てをする。国際的にも絶滅が懸念されており、日本の繁殖地を守ることは国際的な日本の責務である。
2. 大阪ではコアジサシ繁殖適地の自然河川・自然海岸が激減しており、繁殖地としてコアジサシは関西空港建設地など造成工事現場などを選ぶ傾向がある。
3. 夢洲では2020年以前からも、コアジサシの集団繁殖が確認されており、そのため、大阪府では夢洲を生物多様性ホットスポットの重要Aランクに指定している。
4. 「環境省のコアジサシ繁殖地の保全・配慮指針」では、繁殖予想地域への立ち入り規制、繁殖開始後には、その場所には立ち入らず、繁殖をさせておかなければならないことが規定されている。
5. 鳥獣保護管理法では、鳥獣および鳥の卵を損傷することが禁じられている。卵やヒナが認められる時点で繁殖活動を妨害する行為は、鳥獣保護法に違反する可能性がある。花火やドローンなどのイベント、人の立ち入りは、親鳥が卵やヒナを放棄して逃げ去ることが想定されるので、中止すべきである。
6. 夢洲での2020年度の繁殖行動確認推定個体数は500羽であり、この規模の個体数は大阪湾最大規模である。2020年は大阪湾のほかの場所でこの規模の集団繁殖の報告はなく、大阪湾に繁殖適地がないことは否めない。
7. 大阪府、大阪市、2025国際博覧会はSDGsをかかげているので、相反する行為は厳重に慎むべきである。

以上

(参考)

大阪自然環境保全協会 コアジサシ保護活動の流れと2020年コアジサシの写真記録  
<http://www.nature.or.jp/action/yumeshimamirai/>

環境省・コアジサシ繁殖地の保全・配慮指針  
<https://www.env.go.jp/nature/kisho/guideline/koajisashi.html>

英国における保護事例 <https://littleternproject.org.uk/about-the-project/>